

北海道大学 医学部 形成外科 同門会・教室年報 2024

【山本有平教授退任記念特別号】

ANNUAL REPORT 2024

Department of Plastic and Reconstructive Surgery, Faculty of Medicine, The University of Hokkaido at Sapporo





山本 有平 やまもと ゆうへい

北海道大学大学院医学研究院機能再生医学分野形成外科学教室

学歴

昭和59年 3月 北海道大学医学部医学科 卒業

学位

平成 7年 3月 北海道大学大学院医学研究科 博士課程終了 博士（医学）

職歴

昭和59年 3月 北海道大学医学部附属病院形成外科研修医
 昭和60年10月 東京大学医学部附属病院研修医
 昭和61年11月 北海道大学医学部附属病院医員
 道内各関連病院勤務
 平成 2年 4月 美唄労災病院形成外科部長
 平成 3年 7月 アラバマ州立大学（バーミングハム・米国）形成外科 Research Fellow
 平成 7年 1月 北海道大学助手（医学部附属病院 形成外科）
 平成13年 4月 北海道大学講師（医学部附属病院 形成外科）
 平成15年10月 北海道大学助教授（医学研究科・医学部 形成外科学分野）
 平成17年 4月 北海道大学教授（医学研究科・医学部 形成外科学分野）
 平成19年 8月 复旦大学附属中山医院（上海・中国）客員教授
 平成20年 1月 アラバマ州立大学（バーミングハム・米国）客員教授
 平成29年 4月 北海道大学教授（医学研究院・医学院 形成外科学教室）



同門会忘年会（2024年12月14日 於 京王プラザホテル札幌）

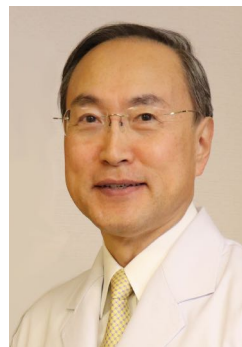


教室員（2024年5月25日 於 北海道大学医学部百年記念館 前）

同門会会長挨拶

野平 久仁彦

北海道大学医学部形成外科同門会 会長
医療法人社団 蘇春堂形成外科 理事長



2025年3月末で山本教授の20年に渡る北海道大学形成外科学教室主宰も終了します。彼が教授になってから52人もの形成外科専門医を育て、28人の博士（医学）を輩出させ、他大学に4人の教授を誕生させた力量には目を見張るものがあります。また主催した学会は日本形成外科学会や日本美容外科学会など6学会にも上り、そのプログラムは今までにないアイデアと企画が盛り込まれており、多くの学会員に強い印象を残しました。構想を持つてはつきりものを言うタイプの彼は、先頭に立って各学会の改革を推し進めてきました。そのため一時は反主流派の抵抗にもありましたが、それは甘んじて受け、悔いを感じなかったようです。このように彼は戦う男だったわけですので、体はあちこち傷だらけです。しばらくはゆっくりと静養して英気を養っていただきたいと思います。

さて話は変わります。「直美（ちくび）」という言葉聞いたことがあるかと思いますが、私が初めて聞いたのは2024年9月に東京で行われた倉片優先生主催の日本美容外科学会でのことでした。会長招宴会で波利井先生が挨拶の中で、初期研修2年が終わるとすぐに美容外科クリニックに入職する医師が、年間100人以上に及ぶとお話をされました。出身は東大理IIIや慶應をはじめ全国の大学に及ぶそうです。理由のひとつは企業側の青田買いです。あるクリニックでは学生時代から声をかけて、飲み会に誘ったりクルーザーに乗せて、美容外科に入ったらこんな生活ができるんだぞと勧誘するそうです。しかし年に100人も入れたらその教育はどうするんでしょう。そこに勤務する医師に聞いたことがあります。直美グループにはまず非手術的な方法を教える。重瞼術ではまず埋没法を教える。そしてそれだけをずっとさせるそうです。形成外科出身者には切開重瞼を行わせる。しかし手術にまわってくる数が少ないのでそろそろ転職を考えているとのこと。

私が美容外科に興味を持ったのは、米国留学の時です。米国で形成外科医になるためにはまず5年間の外科研修をしてから、全米の形成外科講座の中でマッチングを行い、そこで形成外科のレジデントを2年します。それから専門医試験を経て、晴れて形成外科医になるのです。彼らに聞いたことがあります。なぜこれほど修練が大変な形成外科に入ったのかと。そうすると美容外科医になりたいからだと答えました。なるほどそうなんだ。有為な人間にとってはまず形成外科の世界で有名になり、その後美容外科に転身するというのが正統派のサクセスストーリーなのです。

帰国後、室蘭で乳房再建や顔面外傷を思う存分経験したあと、次の段階である美容外科を極めたくになりました。米国流の美容外科はたくさん勉強しましたが、日本人の美容外科については何も知りませんでした。そこですでに開業していた新富先生にお願いして、蘇春堂形成外科に入職しました。美容外科を始めてみてすぐに気づいたことは、米国の美容外科の技術は日本人にも使えるが、美の基準が全く違うことでした。米国には二重の概念がない。鼻も整鼻術が中心で、増大術はない。とくにシリコンインプラントは禁忌とされていました。日本人の美容外科を一から勉強しなくてはならないことを痛感しました。さらに患者のバリエーションが多彩で、手術手技も多く、この二つの要素の積の数を経験して自分のものにしていかなければならないことを考えると、とても数年で学ぶことは無理であることを理解しました。これから経験を積むとしても、あと10年は学会で何かを話すことはできないなと感じました。それほど修練に時間がかかるということです。

今から考えても良かったと思うのは、もともとマイクロサージャリーが専門だったので、最初から顕微鏡下で眼瞼手術を始めることができたことです。今年で72歳になりましたが、顕微鏡のおかげで毎日明るく鮮明な術野のもとで手術できる幸せを感じています。

直美に行く若い先生も、美容外科への興味から、最短距離でその世界に入る道を選んだと思いますが、残念ながら相手は様々なバリエーションを持った人間ですし、治療にはトラブルが必ず付きまといまいます。ある記事で直美の大先輩も言っています。形成外科は勉強しておくべきだったと。

教授挨拶2024

山本 有平

北海道大学医学部形成外科学教室 代表
北海道大学大学院医学研究院・医学部
形成外科学教室 主任教授

今から20年前に現職に就任し、札幌のばんけいスキー場センターロッジにて、“山本有平教授激励会”と称したFirst Danceから始まった、私の教授人生も、いよいよ大団円を迎えます。当時は、これから一体どんな時間が過ぎていくのだろう、どんな世界が繰り広げられていくのだろうという、期待感や高揚感で心がワクワクしたことが思い出されます。

これまでの振り返りますと、北海道大学形成外科の山本有平と日本形成外科学会の山本有平の2つの立場がありました。この秋に、日本形成外科学会の山本有平がお世話になった、日形会教授の方々を中心としてお招きし、教室主催にて“The Last Dance”と称した退任記念パーティーを開催させて頂きました。そして、来年の3月には、北海道大学形成外科の山本有平がお世話になった、北大医学部、関連病院、同門会の方々を中心としてお招きして、同門会主催の祝賀会が開催される予定であります。

さて、大学院におきましては、西尾卓哉先生が卒業され、博士（医学）学位を取得しました。旭川医大に赴任しながら、林 利彦教授の指導のもと、意義ある論文を完成させました。また、新たに三田村真太郎先生、福田摩莉佳先生、林 翔平先生、佐藤航司先生が、立派な成績で日本形成外科学会認定専門医を取得しました。次世代における各位の活躍を心から期待しています。

結びに、教室を主宰する主任教授の仕事は、“教室員の特質をよく観察し、彼らに最も輝くフィールドを提供することである”ことを信条としてきました。教授職退任にあたり現在の心境を記して、幕を引きたいと存じます。

人それぞれが知るぜいたく～幸せ

“贅沢”とは、金銭や時間などを使って、物事を必要以上に豪華にすることと言われます。例えば、高級な食事、高価なブランドアイテム、優雅な旅行などでしょうか。このような贅沢を楽しむことに幸せを感じる瞬間もあるかもしれませんが、そうでないシチュエーションも多々あると思います。ぜいたく～幸せの感じ方は、人それぞれによって異なります。

私は、職業人として、これまでの40年余を振り返り、次のようなぜいたくを知り、幸せを感じてきました。形成外科医として、“目の前の患者を治す”、さらに、“新しい治療法を開発して、その成績を論文発表し、目の前にはいない広い世界の患者に役立てる”。そして、大学主任教授として、“学会の役員や会長を務めて組織を動かす”、さらに、“教室を主宰して、医育機関の指導者を輩出する”。まわりの方々のおかげで、6学会の会長、2学会の理事長を務め、そして、4大学に主任教授を送り出すことができました。

これこそが、私が知り得たぜいたく～幸せな刻であったと思います。このような人生を過ごすことができ、皆様に心より感謝申し上げます。

～You say thanks for the past, enjoy the moment. Let's make sure we end it right.

from THE LAST DANCE, MICHAEL JORDAN

“過去に感謝し、いまを満喫して、正しく締めくくれば良い。”

これまで、本当にありがとうございました。今後とも、北海道大学医学部形成外科学教室への、皆様方からの大いなる御指導、ご鞭撻を賜れば幸甚に存じます。

目次

巻頭言

- 同門会会長挨拶／野平久仁彦 [i]
教授挨拶2024／山本有平 [ii]

沿革 001

- 歴代教授 歴代同門会会長 歴代教室輩出教授 002
教員スタッフ 002
主な主催全国学会 003

山本有平教授退任記念特集 004

- I. 巻頭言&同門だより2005~2023 006
II. 特別寄稿 042
1 愛する形成外科へ〜“目標”と“恩返し” 043
2 教授職を離れるにあたって
：学生への薫陶〜医師としての矜持 045
3 教授退任にあたって 047
III. 開催6学会会長挨拶文 048
IV. 心に残る10編の論文
～ My representative articles 056
V. 歴代アカデミー開催要項 060
VI. 山本有平教授退任記念文集 072
教授ご退任にあたり／新富芳尚 073
山本教授の御退任によせて／吉田哲憲 074
教授誕生前夜の思い出／野平久仁彦 075
山P お疲れさまでした／佐々木了 076
山本有平教授栄休：一位良師益友の学术人生／元 发芝 077
山本先生との出会いと感謝／村住昌彦 080
山本先生との思い出／関堂 充 081
ありがとうございました。／小山明彦 082
山本有平教授退任に寄せて／古川洋志 083
ヤマモトイズム／舟山恵美 084
『Like a Machine』／堀内勝己 085
山本有平教授への感謝を込めて／矢島和宜 086
山本教授との出会い／吉田哲也 087
Tribute to Professor Yamamoto Yuhei:
A Legacy of Inspiration／Thinle Chodon 088
山本有平教授ご退任によせて／林 利彦 089
山本教授との思い出／村尾尚規 090
山本有平教授ご退任によせて／大澤昌之 091
The Champion of ‘Team Play’
– Professor Yuhei Yamamoto／William Mol 092
山本教授体制一期生です！／長尾宗朝 094
21年前／山尾 健 095
北大形成外科との出会いとこれから
～山本教授への感謝／前田 拓 096
空と木々のカンファレンスルーム／石川耕資 098

- 山本有平教授ご退任によせて／渡邊亜希子 099
発表とProf. Yと私／高橋周子 100
千里の行も船頭にあり／草島英梨香 102
山本有平教授とともに過ごさせて
いただいた貴重な時間／三浦隆洋 103
山本有平教授のご退任に寄せて／佐々木雄輝 104
教授室にさしこむ光／澤口恵美 105

VII. THE LAST DANCE: PROF. YAMAMOTO Farewell Speech集 106



同門だより 136

- 長々距離ライド／川嶋邦裕 137
ボックスアートで知るイスラエル空軍／村住昌彦 138
2024海外学会報告／関堂 充 143
Welcome to “FACEs 2027” in Fukushima／小山明彦 144
正しいことをするのは易しいが、
何が正しいか判断するのは難しい／舟山恵美 145
南の島へ／林 利彦 146
己を貫く〜石原さとみとソフトクリーム〜／村尾尚規 147
勝手に（挿）しやがれ！4／大澤昌之 149
おすすめ子育て便利グッズ／高橋周子 151
国際学会参加報告2024／草島英梨香 153
苔に対する感想と考察／徐 東経 155
北海道での新たな一歩／周 欣郁 156
トレイル、スノボ仲間募集中。／的場苑子 157
新入教室員挨拶／荒川皓城・岡崎達哉 158
岸部真由子・中根慶士 159

TABLE OF CONTENTS

年譜	160	教室年間活動 診療	214
教室年譜2024	161	北海道大学形成外科専門研修プログラム施設群	215
堀内勝己市立札幌病院理事就任ならびに		専門研修基幹施設／北海道大学病院	216
学位・専門医取得祝賀会	162	専門研修連携施設／市立札幌病院	218
同門会懇親会、スタートアップ イブニング	163	時計台記念病院	220
北大形成外科最高運営会議2024	163	斗南病院	221
形成外科研修説明会	164	手稲溪仁会病院	224
第39回北日本形成外科学会学術集会	164	北海道がんセンター	225
教育研修施設会議2024	164	苫小牧日翔病院	225
第106回北日本形成外科学会北海道地方会	164	函館中央病院	227
THE LAST DANCE: PROF. YAMAMOTO		市立函館病院	228
～山本有平教授退任記念パーティー	165	日鋼記念病院	228
第6回WOUND BED PREPARATION研究会	167	帯広厚生病院	229
同門会総会・忘年会	167	北見赤十字病院	230
教室仕事納め会	169	森山病院	231
		市立釧路総合病院	232
教室年間活動 研究	170	青森新都市病院	233
北大形成外科カンファレンス	171	教育研修施設（常勤）／蘇春堂形成外科	234
Manifesto 2024	175	（非常勤）／桑園中央病院	235
業績一覧	177	天使病院	235
UHS English Literature PDF Library	181	愛全病院	236
参加学会一覧	183	千歳皮膚科形成外科クリニック	236
学位取得者および学位論文の要旨／西尾卓哉	189	北海道せき損センター	237
大学院生研究室だより	191	岩見沢市立総合病院	237
北海道大学博士学位取得者一覧	192	苫小牧市立病院	238
研究費採択状況一覧	193	旭川厚生病院	238
北成賞	195	釧路労災病院	239
		他形成外科専門研修プログラム 相互連携施設	
教室年間活動 教育	196	愛知医科大学病院	240
講義・試験	197	旭川医科大学病院	242
臨床実習	197		
臨床実習口演一覧	199	教室年間活動 レクリエーション	244
北海道大学医学部医学科交換留学プログラム	201	スキー合宿 2024	245
北海道大学形成外科専門研修プログラム	202	The Party 2024	246
／形成外科医育成 “グランドデザイン”	202	ゴルフコンペ “北大形成外科マスターズ” 2024	247
／PRS residency file	204	ゴルフコンペ “北大形成外科THE OPEN” 2024	247
／専攻医教育セミナー	206	リレーマラソン in 札幌ドーム 2024	248
日本形成外科学会専門医取得者～10症例・論文	207		
北大形成外科アカデミー	209	その他・一覧	250
形成外科領域指導医・特定分野指導医・		同門会構成員・教室スタッフ	251
分野指導医取得者一覧	213	客員研究員・非常勤講師・客員臨床教授	252
		A会員勤務施設一覧	253
		外国人連絡会員・名誉会員勤務施設一覧・物故会員	254
		教育研修施設一覧	255
		学会役員・委員一覧	256
		同門会規約・教室総則	257

沿革 History

北海道大学医学部形成外科学教室：北大形成外科の歴史は、初代教授、現北海道大学名誉教授である大浦武彦に始まる。大浦は、当時日本で唯一の形成外科診療科があった東京警察病院の故大森清一先生のもとで形成外科を研修した後、1965（昭和40）年4月に北海道大学医学部皮膚科学教室三浦祐晶教授のご配慮により形成外科診療班をつくり、医学部附属病院皮膚科で形成外科の診療を開始した。

1978（昭和53）年6月には、その後の積極的な診療活動および当時の文部省、大蔵省への働きかけにより、北海道大学医学部附属病院に形成外科診療科が新設され、大浦が北海道大学医学部形成外科初代教授に選任された。教室定員は5であった。

1985（昭和60）年5月には、北海道大学医学部形成外科同門会が設立され、初代会長には浜本淳二が選出された。

1987（昭和62）年4月には、北海道大学医学部附属病院形成外科における臨床・研究両面にわたる実績が認められ、北海道大学医学部に形成外科学講座が新設された。

1995（平成7）年9月には、杉原平樹が第2代教授に就任し、同年12月より、新富芳尚が第2代同門会会長となった。

2005（平成17）年4月には、山本有平が第3代教授に就任した。

2007（平成19）年12月より、吉田哲憲が第3代同門会会長となった。

2008（平成20）年7月には、関堂 充が筑波大学形成外科教授に割愛された。

2017（平成29）年12月には、小山明彦が福島県立医科大学形成外科教授に割愛された。

2018（平成30）年4月には、古川洋志が愛知医科大学形成外科特任教授に割愛され、

2019（平成31）年4月に、愛知医科大学形成外科教授に就任した。

同年12月より、野平久仁彦が第4代同門会会長となった。

2021（令和3）年1月には、林 利彦が旭川医科大学形成外科教授に割愛された。

この間、北海道大学医学部形成外科は同門ならびに教室員と共に、さらなる飛翔を遂げ続けている。

教室創立年月日：1965（昭和40）年4月1日

歴代教授



初代教授 大浦 武彦
(1931年-)
在任 1978年6月16日～1995年3月31日



第2代教授 杉原 平樹
(1941年-2020年)
在任 1995年9月1日～2005年3月31日



第3代教授 山本 有平
(1959年-)
在任 2005年4月1日～

歴代同門会会長



初代会長 浜本 淳二
(1932年-2009年)
在任1985年5月1日～1995年11月30日



第2代会長 新富 芳尚
(1943年-)
在任1995年12月1日～2007年11月30日



第3代会長 吉田 哲憲
(1946年-)
在任 2007年12月1日～2019年12月14日



第4代会長 野平 久仁彦
(1953年-)
在任 2019年12月15日～

歴代教室輩出教授



筑波大学 医学医療系 形成外科
教授 関堂 充
(1962年-)
在任 2008年7月1日～



福島県立医科大学 形成外科学講座
主任教授 小山 明彦
(1966年-)
在任 2017年12月1日～



愛知医科大学 形成外科学講座
主任教授 古川 洋志
(1966年-)
在任 2019年4月1日～



旭川医科大学 形成・再建外科学講座
教授 林 利彦
(1964年-)
在任 2021年1月1日～

北海道大学大学院医学研究院形成外科学教室 教員スタッフ

教 授
准教授・診療教授
講 師・診療准教授
助 教・診療講師
助 教

山本有平
舟山恵美
前田 拓
石川耕資
三浦隆洋

2024年12月31日現在

主な主催全国学会

1980年

第1回国際熱傷学会アジア太平洋地区会議 (会長：大浦武彦)
第6回日本熱傷学会総会 (会長：大浦武彦)

1986年

第29回日本形成外科学会学術集会 (会長：大浦武彦)

1990年

第8回日本臨床皮膚外科学会学術大会 (会長：松本敏明)

1991年

第14回日本美容外科学会総会・第54回学術集会 (会長：大浦武彦)
第3回国際ティッシュエキスパンションシンポジウム (会長：大浦武彦)

1993年

第11回日本頭蓋顎顔面外科学会学術集会 (会長：大浦武彦)

1995年

第22回日本マイクロサージャリー学会 (会長：新富芳尚)

1998年

第16回日本頭蓋顎顔面外科学会学術集会 (会長：杉原平樹)

2000年

第43回日本形成外科学会総会・学術集会 (会長：杉原平樹)

2004年

第7回日韓国際形成外科学会 (会長：杉原平樹)
第6回日本褥瘡学会学術集会 (会長：大浦武彦)

2007年

第30回日本美容外科学会総会・第100回学術集会 (会長：新富芳尚)

2009年

日本下肢救済・足病学会創立学術集会 (会長：大浦武彦)

2011年

第3回日本創傷外科学会総会・学術集会 (会長：山本有平)

2012年

第28回日本皮膚悪性腫瘍学会学術大会 (会長：山本有平)

2014年

第32回日本臨床皮膚外科学会学術大会 (会長：木村 中)

2015年

第3回日本乳房オンコプラスティックサージャリー学会総会 (会長：山本有平)

2017年

第40回日本美容外科学会総会・第130回学術集会 (会長：野平久仁彦)

2018年

第36回日本頭蓋顎顔面外科学会学術集会 (会長：山本有平)

2019年

第62回日本形成外科学会総会・学術集会 (会長：山本有平)

2021年

第48回日本マイクロサージャリー学会学術集会 (会長：関堂 充)

2022年

第45回日本美容外科学会総会・第145回学術集会 (会長：山本有平)
第40回日本臨床皮膚外科学会総会・学術大会 (会長：南本俊之)

2023年

第11回日本乳房オンコプラスティックサージャリー学会総会 (会長：関堂 充)
第19回日本血管腫血管奇形学会学術集会 (会長：古川洋志)

